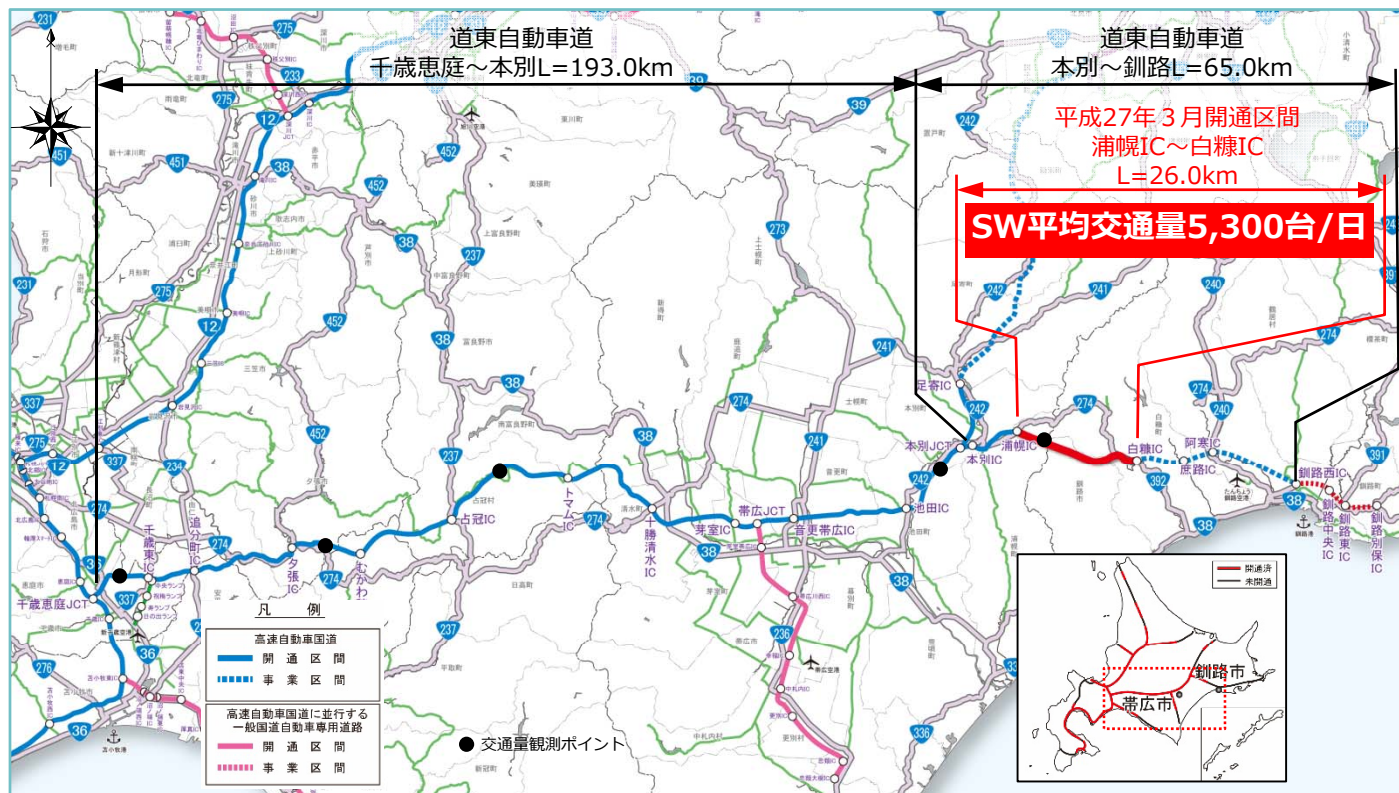


道東自動車道のシルバーウィーク期間中の利用が全区間で増加

- シルバーウィーク期間中は日平均交通量で約5,300台に利用されました。
- これまでに開通した区間の交通量も道東道の延伸に伴い増加傾向にあります。

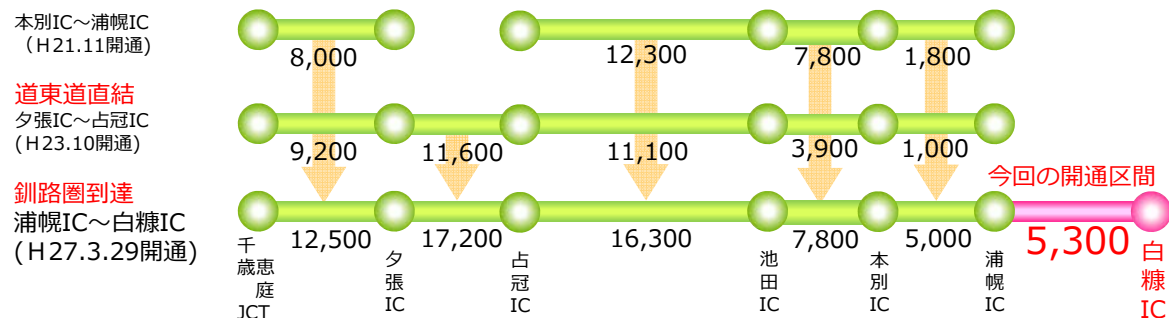


▼SW期間中の交通状況



道東自動車道 白糠町南上茶路(H27.9.23)

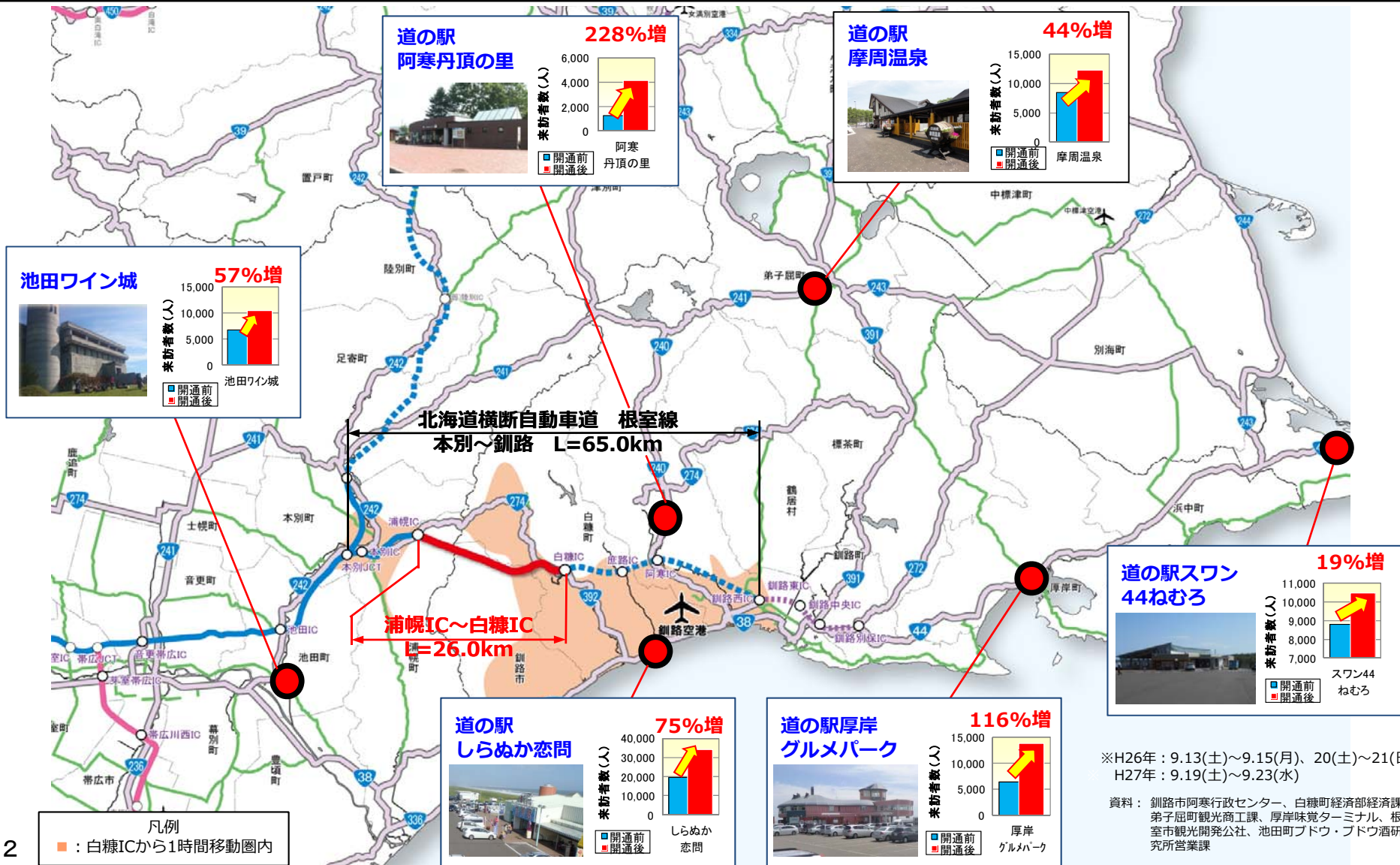
▼SW期間中の交通量推移



※千歳恵庭JCT～本別ICの交通量は東日本高速道路(株)提供
 ※本別IC～白糠ICの交通量は釧路開発建設部調べ
 ※SW平均交通量は、
 開通前 H22.9.18～9.26の土日・祝祭日平均
 開通前 H24.9.15～9.23の土日・祝祭日平均
 開通後 H27.9.19～9.23の土日・祝祭日平均
 ※H22.9.18～9.26は高速道路無料化社会実験期間中の値

釧路根室地域の観光入込客数はGWに引き続きS Wも好調

- 釧路根室圏の観光入り込みは、ゴールデンウィークに引き続き、シルバーウィーク期間も、休日の日取りの良さも相まって、好調でした。
- 釧路圏を中心に広域に観光客は増加しており、周遊観光の活性化が見られています。

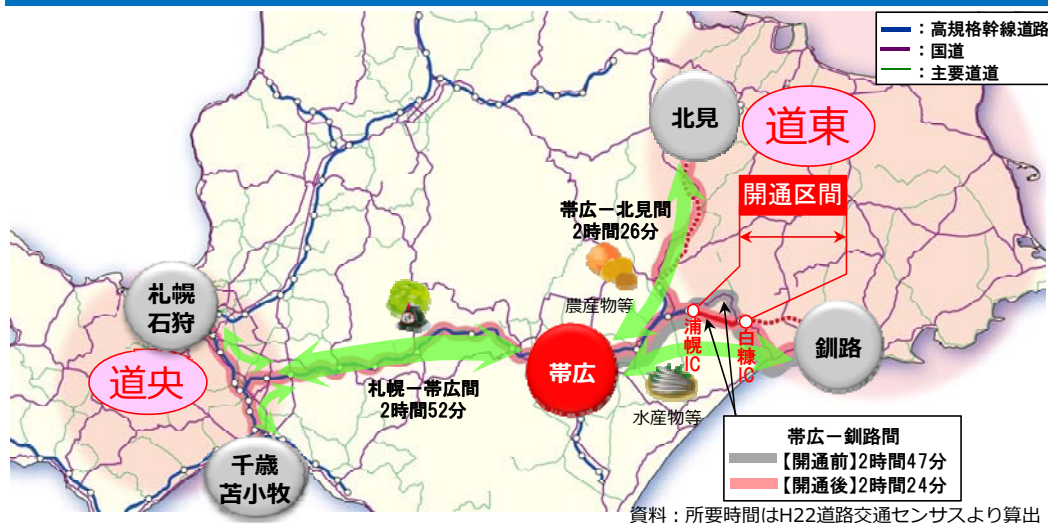


※H26年：9.13(土)～9.15(月)、20(土)～21(日)
H27年：9.19(土)～9.23(水)

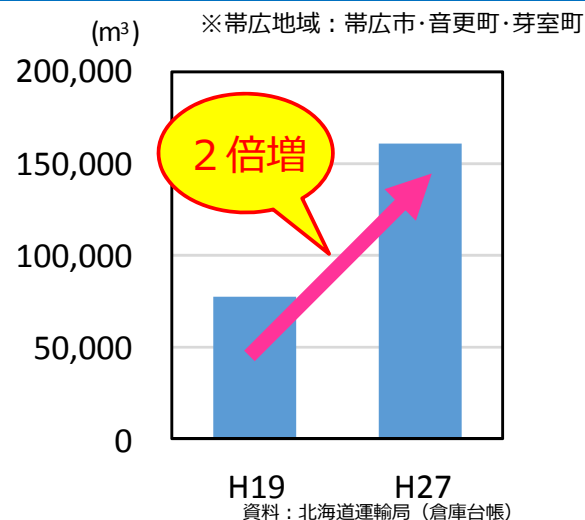
資料： 釧路市阿寒行政センター、白糠市経済部経済課、
弟子屈町観光商工課、厚岸味覚ターミナル、根室市観光開発公社、池田町ドフ・ドフ研究所営業課

- トラックドライバーの労務管理厳格化も背景に、道東道の延伸による時間短縮も相まって道東～道央間の物流は、帯広地域での中継拠点化が進み、道央～帯広間の一括輸送が可能となり効率化が図られています。
- 現在、帯広地域で道内最大規模の冷蔵倉庫が建設中であり、更なる中継拠点化が進んでいます。

道東圏～道央圏間の物流の中継拠点化の状況



帯広地域での冷蔵倉庫の容積推移



帯広地域での物流の中継拠点化によるトラックドライバーの効率化



同ルートを3人が個別輸送
⇒非効率



帯広での中継輸送により同ルートは1人で一括輸送可能に
⇒2人分の人件費が削減され効率化